

現代経営学応用研究（プロジェクト・マネジメント）シラバス 2026 年度

（担当教員 今井佐知子）

1. 授業のテーマと目標

本講義では知識・経験の融合の場であるプロジェクトと、そのマネジメントの基本的な概念について学びます。

プロジェクトマネジメントの一般的な手法を理解し、プロジェクトマネジャーあるいはメンバーとしての対応力を高めることを目標とします。

2. 授業の概要と計画

ZOOM を用いた遠隔講義を、以下のスケジュールで実施します。

第1回：8月 7 日（金）5 限目・6 限目

第2回：8月 14 日（金）5 限目・6 限目

第3回：8月 21 日（金）5 限目・6 限目

第4回：8月 28 日（金）5 限目・6 限目

※ 5 限目（18 時 20 分～19 時 50 分）・6 限目（20 時 00 分～21 時 30 分）

第1回

- イントロダクション
- プロジェクトマネジメントに関連する基本的な概念
- プロジェクトマネジメントの枠組みを身近なケースで理解する

プロジェクトマネジメントの基本的な概念について、教科書の内容に、技術マネジメントの分野の事例を加えながら、技術系以外の受講生の皆さんにも、わかりやすく説明します。

プロジェクトマネジメントの代表的な知識体系についても、そのエッセンスを紹介します。

事前課題：教科書の第1部を通読し、御自身が参加している（いた）プロジェクトにおいて直面した問題をリストアップし、問題意識を明確化する（提出不要）。

第2回

- 資源・組織のマネジメント
- コミュニケーション・情報のマネジメント、戦略の実現

プロジェクトを推進する上で、必要な資源、組織、コミュニケーションおよび情報のマネジメントについて、学習します。プロジェクトの規模の拡大、グローバル化に伴い、求められるプロジェクトマネジメントのスキルも高度化します。

後半は、開発プロジェクトのマネジメント手法（ウォーターフォール型・アジャイル型）の Pros&Cons 等について討議します。

事前課題：教科書の第 2 部を通読し、御自身が参加している（いた）プロジェクトにおける資源、組織、コミュニケーション、情報のマネジメントの特徴をリストアップすることにより、現状を明確に理解する（提出不要）。

第 3 回

- 計画と目標管理
- シナリオ分析・リスク分析・価値の評価
- ポートフォリオマネジメントの事例

プロジェクトの重要なデシジョンポイントで行うべき、目標管理、シナリオ分析、リスク分析、価値評価について、定量分析の事例を用いて、実践力を高めます。

後半は、製薬産業の製品開発プロジェクトのケーススタディを題材に用いて、受講者間での意見交換を行うことにより、実践的な理解を深めます。

事前課題：

- 教科書第 3 部の通読。
- Vertex Pharmaceuticals: R&D Portfolio Management (A)の概要等を、A4 用紙 2 枚程度にまとめて提出する（小レポート①、締め切り 8 月 17 日）。

第 4 回

- 授業のまとめとケース研究
- グループワークと発表

社員参加型の経営理念構築プロジェクトのケーススタディを題材に用いて、全社規模のプロジェクトマネジメントを実施する際に、考慮すべき点について、グループ毎に検討し、さらに複雑な条件のプロジェクトに適用する際の注意点について、意見交換を行います。

事前課題：協和発酵キリンのケースの概要等を、A4 用紙 2 枚程度にまとめて提出する（小レポート②、締め切り 8 月 25 日）。

事後課題（期末レポート）：レポートのテーマについては講義中に発表します。A4 用紙 5～10 枚にまとめて、提出する（締め切り 9 月 16 日）。

3. 成績評価

授業への貢献と小レポート 60%

毎回、出欠をとります（4回）。なお、積極的な発言は授業への貢献として加点します 40%

小レポート① 10%、小レポート② 10%

期末レポート 40%

4. その他

連絡先

小レポートの提出等の連絡先のメールアドレスは、初回の授業でお伝え致します。質問等も、随時、メールで受付けます。

教科書

- 1) プロジェクトの概念 プロジェクトマネジメントの知恵に学ぶ 第2版 日本プロジェクトマネジメント協会（編） 神沼靖子（監修） 近代科学社 2018.
- 2) 授業で利用するビジネス・ケースは各自購入して下さい。

[Vertex Pharmaceuticals: R&D Portfolio Management \(A\) \(hbr.org\)](https://hbr.org/collections/vertex-pharmaceuticals-r&d-portfolio-management)

(NPV 法で検討)

[協和発酵キリン：社員参加型の経営理念構築 – Hitotsubashi Business Review \(bookpark.ne.jp\)](https://bookpark.ne.jp/hitotsubashi-business-review)

参考書

- 1) ケース演習でわかる技術マネジメント 原田勉 日本経済新聞出版社 2007.
- 2) MOT「技術経営」入門 延岡健太郎 日本経済新聞出版社 2006.
- 3) イノベーション・マネジメント入門第2版（新装版） 一橋大学イノベーション研究センター [編] 日本経済新聞出版社 2022.
- 4) アジャイル開発とスクラム第2版 平鍋謙治、野中郁次郎、及部敬雄 翔泳社 2021.
- 5) 竹内弘高・野中郁次郎 倉田幸信（訳）スピードと柔軟性を生む6つの特徴 新たな新製品開発の方法 Diamond Harvard Business Review, Feb 2023, p.122-136.
- 6) [Agile Project Management \(hbr.org\)](https://hbr.org/collections/agile-project-management)
- 7) アントニオ・ニエト＝ロドリゲス 友納仁子（訳）プロジェクト主導型組織を実現する8つの要諦 Diamond Harvard Business Review, Jun 2026, p.30-41.

以上